

デュオよこすか便り

デュオよこすかで活動している登録団体をご紹介します

第1回 ユニコーン

「この間老人ホームで『かさこじぞう』の劇を英語でやったのよ。英語を知らない方にも分かるように簡単な英語と日本語でね」「私は韓国に行ってきました」など、まずは楽しく情報交換。

ユニコーンは月に1回、アメリカの雑誌「TIME」を訳しながら世界情勢について話し合っています。団体名は、高校の英語の教科書「UNICORN」から名付けました。メンバーは長年英語教育に携わってきた60～70歳代の主婦6人で、お付き合いは35年以上にもなるのだとか。その間には男性や外国人も参加していたこともあり、6人中3人は今でも中学校などで教えています。

「TIMEのエッセイは毎回さまざまな思想や立場の人が書いているの。だから視点が開けて面白いのよ！」

新聞では知ることができない世界の動きが分かるのだそうです。外国で話題になったことが日本に入ってくるのはだいぶ経ってからだということも実感してきたといいます。例えば「T」やネットサーフィンなど。その時はどう訳したらよいか困るけれど、後になって「ああこれのことか！」と盛り上がることもあります。

社会問題を考えるので情勢を知らない和理解できないし、難しい単語や名前の発音などが分からないことがあります。集まった時にみんなで考えますが、家でも新聞を読んだり、辞書を引いたりする時間が多くなったそうです。

「どれだけ勉強したら気が済むの？女なのだから勉強する前に家事をやってよ！」と家族に言われたこともありました。

デュオにある本を読んで仲間と話すうちに、だんだんと意識が変わり、今では夫婦ともに自立して活動することが当たり前になったとおっしゃいます。

「以前は喫茶店やホテルなどを使っていましたが、デュオは予約もできるのでありがたいです」と話してくれました。



男女共同参画に関する活動や、男女共同参画の視点を取り入れて活動するグループを募集しています。お問い合わせは、デュオよこすか(☎ 822-8228)へ。

相談室コーナー

こんにちは！「デュオよこすか女性のための相談室」です。相談室では、女性からの日常的な悩みについて、ご相談をお受けしています。このコーナーでは、さまざまなご相談が寄せられる中で相談室が感じることを、少しでもお役に立てたらいいな、という気持ちでご紹介します。

第2回 自立

相談の中でも多いのは、夫婦の問題、特に離婚に関するご相談です。

いちどは一生を共にしようと思った相手とのことから、相談者は、これまでの愛情や思い出、悲しみや憎しみなどの感情に揉まれ、気持ちの整理に悩みます。その上で「離婚」という選択をするにあたり、相談者に生活を維持できる収入が無い場合、なかなか踏み切ることができないケースがあります。

こうした相談では、自分自身に収入が有ると無いとでは、人生の可能性が全く違うという事を考えさせられます。

結婚や出産を機に女性が仕事を辞める、ということは何かで決まっていることではありません。これらの方には、できる限り仕事を続け、家事や育児もパートナーと力を合わせてシェアしていくことをお勧めします。

こうした協力体制が夫婦の運命共同体としての意識を深めていくのではないのでしょうか。

社会にはさまざまな考え方の人がいて、例えば「妻は夫を支えるもの」だとか、「母親は子どもを預けてまで働くものではない」とか、それぞれが信じていることを語りますが、人生の責任は本人が取るしかありません。周囲に惑わされず、自分はどのように生きたいかを丁寧に考えてみましょう。

相談のケースに戻りますが、「別れたい、でも離婚したら生活できない・・・」そんな考えで悶々とするよりは、まずは仕事を探すなど自立の方法を考えてみましょう。具体的に行動することで、新しい価値観や生き方に気付いたりパートナーとの関係が変わったり、再出発の方向が見えてくるかもしれません。

女性のための相談室 ☎ 046-828-8177

*一般相談(電話・面談) 月・水・金曜日 9時～16時
*法律相談(面談・予約制) 第2火曜日(原則) 13時30分～16時30分

人権・男女共同参画課から

◆講座のお知らせ

昨年11月から今年1月にかけて「私らしい生き方を探す女子学入門」、「自分を伝えるコミュニケーションレッスン」を開催しました。

参加者からは「自分を見つめ直すことは大切。この経験(講座)は私にとって宝物です」「前向きになれました」「いろいろな人の声を聞いて良かった」「今まで受け身で、感

◆男女共同参画市民サポーター 登録者募集中!!

望ましい男女共同参画社会を実現するための、新たな計画の検討に参加してみませんか？

今年は4月から9月までに3回会議(ワークショップ形式)を行う予定です。日ごろ感じている問題を出し合っ

情や考えを伝えていなかった。『言いづらいんだけど...』を使ってスムーズに伝えたい』との感想をいただきました。

※次回の講座は、働く人を対象にした内容で5月、6月に行う予定です。詳細は「広報よこすか」やホームページでお知らせします。

対象は、市内在住・在勤・在学の人です。詳しくは、人権・男女共同参画課へ。

【人権・男女共同参画課・☎ 046-822-8228】

デュオスタッフ おすすめBook

◆『家庭モラル・ハラスメント』(2008年)

熊谷 早智子(講談社+α新書) 夫の精神的暴力から、こうして私は生還した!!夫の非情な言葉や態度によって傷つく妻たちが急増している。もしかしたら、あなたも被害者かもー。

◆『大丈夫!うまくいくから』(2003年)

浅見 帆帆子(幻冬舎) あなたのまわりに起こることは、良いことも悪いことも全てあなたが決められる。人間の意識の力、運など 成功と幸せに導く本。

◆『女ひとり お金に困らない生き方』(2008年)

山本 節子(主婦の友社) おひとり様で生き抜くための住宅・保険・年金・資金運用術をご紹介。これからの長い人生を安心して送るためにも、一度立ち止まってお金のことを考えてみませんか。

デュオよこすかの開館時間が変わります

4月から、月曜日～土曜日の開館時間が9時～20時に変わります。デュオよこすかは、男女共同参画を推進するための施設です。交流の場、出会いの場、情報収集の場としてご利用ください。

〒238-0041 横須賀市本町2-1(総合福祉会館5階) ☎ 046-822-0804

開館時間 月曜日～土曜日=9時～20時(3月中は21時)

日曜日=10時～17時

休館日 12月29日～1月3日(臨時休館あり)

◎この広報紙は10,000部作成し、1部あたりの印刷経費は19.4円です。

◎この広報紙は、グリーン購入法に基づき平成23年度横須賀市グリーン購入方針の判断基準を満たす紙を使用し、かつ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料(Aランク)のみを用いて作成しています。



エコライフ ← 意識をすれば、必ず変わる → 男女共同参画

| | |
|----------------------------------|------|
| 男女共同参画を学ぶ子どもたち | 1P |
| 男女共同参画社会の“今” ～インタビュー 横須賀市消防局～ | 2・3P |
| 家庭科の先生にインタビュー(1面関連記事) | 4P |
| デュオよこすか登録団体・相談室コーナー | 5P |
| お知らせ | 6P |



市内の県立高校に通う息子が、ある日持ち帰った授業のレポート。何気なくそれを手にして思わず叫びました! 「これどうしたの?何の授業?見せてー!」 『ニューウェーブ』の編集委員として私が取り組んでいるテーマそのものだったのです。親の私があまり知らなかった「男女共同参画」を、今の子どもたちは学校で学習しているようです。どのように学んでいるか聞いてみました。

現在は、男女ともに中学・高等学校で男女共同参画を学んでいるそうです。息子たちは1年生の家庭科の授業で、A～Iの9つのテーマに分かれてグループ調査していました。

- A 私たちと家族・家庭
- B 結婚と離婚
- C 家庭生活に力がかかる法律
- D 社会的支援制度
- E 少子社会の現状と課題
- F 労働
- G 生活時間の使い方
- H 男女共同参画社会を目指して
- I 自立と自己実現

調査した子どもたちの感想とまとめの一部をご紹介します。子どもたちの様子やどんな思いで教えているのか、家庭科の先生にも話を伺いましたので4ページも合わせてご覧ください。

生徒たちのまとめや感想から

- 積極的に地域との関わりを深め、家族で話す機会を増やしていく必要があると思った。
- 結婚の形や男女差別について、時代や国で違うことが分かった。自分たちも結婚できる年齢になるので、しっかりと目を向けていきたい。
- 海外の方が日本よりも性別役割分業に反対する人が多い。
- 日本では性別役割分担意識や三歳児神話が根強いので、男性が子育てに関わりづらいが、男女様々な価値観の中で育てられるところに両性が関わる意義がある。
- 出産を機に仕事を辞めるなど、妊娠・出産は女性の人生に大きな影響を及ぼす。男性は子育ての喜びを味わう機会が少なく、女性に育児負担がいつている。
- 核家族化、女性の社会進出などにより、様々な保育が必要だが、日本の制度は海外に比べ十分とはいえない。
- 職業労働と家事労働のバランスが取れた時、充実した生活を実現させることができる。
- 非正規社員が増えてきている。「何をしたいか」がないというのも問題。若いうちから自分の将来を見つめ、自分が何をしたいか、具体的に考えておくことが大切。

ニューウェーブ
New Wave
平成24年(2012年)3月発行

横須賀市 市民部 人権・男女共同参画課
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
☎046-822-8228
E-mail: we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp
H P: http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2420/gender/index.html

32号

